

英国の代表的料理を挙げるにフィッシュアンドチップスをその端緒と成すであろうか。料理名を直訳すると「魚と片」というのもなかなか味わい深い。一般には鱈にバター液を纏わせて油で揚げた料理である（それと馬鈴薯断片の素揚げ）。だだ、ちょっと良いF&C屋に行くと魚の種類が選べたりするのですよね。cod（鱈）、haddock（小鱈）、halibut（おひょう）、plaice（鰈）が代表的である。plaice以外は筆者には正直あまり区別が着かない。そして plaice がちょっとお高い。ところで最近ネットで側聞した話では、近年のF&Cアワード（というのが全英各地になんだかんだあるのよ）で優勝している店はみな、ピーナッツオイルを揚げ油としているというのである（なお確実な情報源は見付からず）。コンベンショナルな揚げ油は実は牛脂である（これを beef dripping と呼ぶ）。それに対して植物油の方が発煙点が高いことによって揚げ温度を高くでき、このためカリッと軽く揚がるということらしい。牛脂で揚げた方がコクがあるが全体に揚げあがり方がフニャッとしていて、植物油のカリッと軽い揚げあがりとの間で、好みが分かれる状態になっている（または寧ろカリッが好まれるトレンドなのかな）。植物油の選択肢としては、キャノーラ（菜種）油、ピーナッツ油、ひまわり油、パーム油などが用いられるようである。植物油の中でも特段にピーナッツ油が良い結果を示すのかどうかまでは（ネット調べの範囲ですが）判然としなかった。（BB）

四分法

## 高知歴史巡りと薫焼きの香り

息子の夏休み最後の日曜日、二人で高知へ日帰り旅行をしました。最近歴史に夢中な息子が「高知城を見たい」と言い出し、「本場の薫焼きカツオを食べたい」という希望もあり（おそらくカツオが主目的だったと思われますが…）、朝一番の飛行機で高知へ向かいました。到着後、まず鯖寿司を食べ、その後高知城へ向かい、気温は35℃を超えていて非常に暑かったものの、天守閣では心地よい風が吹き、息子も満足そうでした。次に訪れたのは薫焼きカツオの名店で、目の前で豪快に焼かれるカツオと香ばしい煙に包まれながら、料理が出てくるのを待ちました。息子は「長宗我部元親も食べてたかな」と目を輝かせていました。そういえば先日の粉体工業展では、茶葉を粉砕し香氣成分を保持した粉末製品が展示されており、香りの保存技術が食品分野でも活用されていることを改めて感じました。この薫焼きの香りも、粉体技術で保存・再現できるとすれば、地域の食文化を科学的に継承する手段として期待できるのではと思いました。カツオを堪能した後は坂本龍馬記念館を訪れ、戦国武将好きだった息子は、龍馬にも興味を示し、展示を真剣に見ていました。戦国から明治へと、歴史への関心が広がっていくのをうれしく感じました。帰りの機内では「次は鹿児島かな」と言っていた息子が、いつまでこうして一緒に旅に出してくれるのかな…と、ふと考えながら親子の時間を静かに楽しみました。（TaKuBo）

最近、家庭でお茶を急須でいれなくなったようです。私には3人の息子がいます。既に独立し、それぞれの家庭を持っています。妻が出産の手伝いで次男の家に1.5ヶ月ほど行ってきました。お茶が飲みたいので、「急須がどこにあるの?」と尋ねたところ、「持っていない」といわれ、「食事でお茶を飲まないの?」と尋ねたら、「普段は水を飲んで、お茶が欲しいときはペットボトルのお茶を飲む」とのことでした。妻はどうしても急須でいれた熱いお茶を飲みたいので、煎茶と急須を買ったそうです。急須でお茶をいれて飲む時、さすがに自分だけというわけにもいかず、皆にもいれたところ、「やっぱり急須でいれたお茶は美味しいね!」と言われたそうです。それは当然です。ペットボトルでは香りや苦みがある熱いお茶にはなりません。それに急須でいれたお茶は、冷めても熱いときとは違う味わいがあります。お手伝いの間、毎回の食事でお茶をいれて、皆で飲んだそうです。そして、お手伝いが終わって帰るときに、「急須を置いて行って欲しい」とお願いされたそうです。自宅にも急須はあるので、もちろん置いてきました。子どもが小さいと、こぼしてやけどの心配もありますが、孫には急須でいれたお茶を冷まして飲ませて欲しいです。

他の息子達にも急須を持っているか尋ねたところ持っていないでした。急須を持たない理由は、出がらしを捨てて、急須を洗うのが面倒だからだそうです。若手の皆さんはお茶を急須でいれて飲んでいますか?（忍者）



C&amp;Q corner

四分法

## 恒例（高齢）によりまして

学会、セミナー、研究会や講習会の終了後には、大方の場合であるが交流会が開催される。参加費は無料の場合も有料の場合もある。以前は交流会とはいわずに懇親会といわれていた。懇親会は単なる宴会で、交流会はその前に行われた行事の引継ぎで、学術交流の場という意味があるのでは。それで、各機関の参加者は交流会であれば参加可能であり懇親会であれば所属機関からの許可が得にくいから、内容はほぼ同じでも名称の変更になったと思われる。ちなみに中国では「答謝宴会」すなわち懇親会が使われている。

小生の主催しているPLCM研究会シンポジウムでも、当初は懇親会としていたが、コロナ禍（この時はリモート開催）を挟んで第16回シンポジウム（2023.2.22）より交流会と変えた。募集要項に参加費には交流会費を含むとしたのであるが、「所属機関からの要請で参加費と交流会費とを別々の請求書にして下さい、交流会費は自腹なので参加費だけの請求書をお願いします。」このような要請が多くあった。そこで参加費だけの請求にして、交流会費は無料、ただし出欠だけはお知らせ下さい、ということにしたところ、面倒な要請は皆無となった。

このような会合における乾杯の音頭とか、中締め挨拶を頼まれる機会が多くなった。その時には司会から恒例によりましてと紹介されるが、もう一つ高齢という意味もある。最近はどこに顔を出しても最高齢のようです。この状況がいつまで続くやら！（Q1）

一般社団法人 日本粉体工業技術協会 本部：〒600-8176 京都市下京区烏丸通り六条上ル北町 181 番地 第5キョートビル7階  
TEL 075-354-3581 FAX 075-352-8530  
一般社団法人 日本粉体工業技術協会 東京事務所：〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-11 種苗会館5階  
TEL 03-3815-3955 FAX 03-3815-3126

### ◆ 協会行事日程のご案内

最新情報は協会サイトからご確認ください。  
行事の詳細は京都・協会本部または東京事務所にお問合せ下さい。

行事名	月日	場所	備考
POWTEX® 2026 (第46回国際粉体工業展)	11月25日(水)～27日(金)	東京/東京ビッグサイト	9:30～17:00

### POWTEX® 2026 (第46回国際粉体工業展) 出展のお誘い

### ◆ 粉体機器・技術に関する国内最大のイベントを開催します！

日本粉体工業技術協会主催の「POWTEX® 2026 (第46回国際粉体工業展)」が、2026年11月25日(水)から27日(金)までの3日間、東京ビッグサイトにおいて開催されます。本展示会は粉体機器・技術に関する事業者の方々にとって最大のイベントであり、「粉と粒子」に関するあらゆる情報を発信します。多くの企業・団体が一同に会するこの展示会に貴社のご出展を心よりお待ちしております。

#### ◇開催概要◇

名称：POWTEX® 2026 第46回国際粉体工業展  
開催テーマ：未来をつくるPX (Powder - technology Transformation)  
会期：2026年11月25日(水)～27日(金) 9:30～17:00  
会場：東京ビッグサイト 東1・2・3ホール  
主催：(一社)日本粉体工業技術協会  
展示会URL：https://www.powtex.com/tokyo/



#### ◇【新企画】イチオシ！製品・技術紹介◇

展示会場で、自社のイチオシ！製品・技術をアピールできます！(出展社は参加無料)  
来場者の半数が初来場である POWTEX でイチオシ！を効果的にPRできます。  
1. 会場内にインフォメーションボードを設置し、各社のイチオシ！紹介コーナーを設置  
2. 出展ブースでイチオシ！サイン表示(各ブースに1点お渡しします)  
3. ショートプレゼンテーション  
特設会場において、出展企業が自社のイチオシ！製品・技術をショートプレゼンテーションで紹介いただけます。

#### ◇多彩な併催行事(一部予定含む)◇

ユーザー企業からのニーズが高い『粉』に関する併催企画を多数開催し多くの来場者をお招きします。粉体の業界団体だからこそ提案できる内容です。

##### 【PX フォーラム】

会期中3日間、注目度の高いテーマにスポットを当てたフォーラムを開催します。

##### 【粉体工学入門セミナー】

粉体工学の基礎を勉強し始めるための準備編として、初心者でも分かりやすく解説します。

##### 【粉体機器ガイダンス】

機器基本原理の解説と、企業による機器選定に役立つ初心者向けのセミナーを開催します。

##### 【その他】

「海外情報セミナー」、「粉じん爆発情報セミナー」、「AI技術利用セミナー」、「粒子径計測入門セミナー」など、多彩な併催行事を予定しております。(聴講申込は10月中旬を予定)

◇出展対象技術・製品◇

- 粉粒体製造機器  
粉体ハンドリング（切込み，貯槽，供給，輸送，解袋，閉塞対策，周辺機器）  
破碎・粉碎（破碎，粉碎，微粉碎，超微粉碎，解砕）  
分級・選別・ふるい分け（分級，ふるい分け，選別，分離・異物除去）  
集じん  
晶析・乳化・溶解  
混合・攪拌・分散  
湿式処理（ろ過，圧搾，脱水，濃縮・固液分離，膜分離，脱泡）  
ファインバブル  
乾燥・冷却  
混錬・捏和  
造粒・コーティング・表面改質（造粒，コーティング，表面改質，整粒）  
成形・打錠（成形，打錠，カプセル）  
積層加工技術（積層造形，積層加工技術）  
焼成・焼却  
包装・充填・計量（包装，充填，脱気，計量）  
計装（計装，サンプリング，制御，環境測定）  
エンジニアリング（エンジニアリング，プラント建設，工場建設）  
その他（リサイクル，爆発安全，殺菌，スクリーン・金網・樹脂網，ろ過布，コンテナ・容器，保温・断熱・防音，封じ込め，表面处理，機能塗装 他）
- 粉粒体計測機器  
粒子径・粒子形状，粒子物性，粒子表面構造，（乾燥）粉粒体特性，粒子懸濁液特性・スラリー特性，サンプリング・縮分，その他
- 研究室用機器・ラボ機
- 受託加工・受託計測
- シミュレーション・ソフト
- 粉体材料  
粉碎媒体  
分散剤  
機能性材料  
粉体材料  
医薬品添加剤
- 書籍・JIS規格・標準粉体

【特別展示ゾーン】

特別展示ゾーンとして「《新設》粉体・関連材料ゾーン」と「粉体シミュレーションゾーン」を設置。基本ディスプレイ付き，低価格の規格と，一般ゾーン，大学・研究機関限定のパネル展示をご用意しました。両トピックスをテーマに展示会場内でセミナーを開催し，関連ユーザーを誘致します。《本展示ゾーン特典》会場内特設ステージにてプレゼンテーション（15分）を無料にて行えます。

※各ゾーン先着8社限定

《新設》粉体・関連材料ゾーン

従来の「先端材料ゾーン」からリニューアル！出展対象を広げるとともに，大学や公的研究機関とのコラボレーションや，関連セミナーの実施を計画しております。

- ナノマテリアル  
セルロースナノファイバー，カーボンナノチューブ，グラフェン，各種金属・無機・有機ナノ粒子やナノロッドなど，計測・測定・評価，ナノ粒子の安全性，超微細加工技術など
- 電池材料  
正極材（コバルト，マンガン，ニッケル 他），負極材（グラファイト，ハードカーボン，スズ，ケイ素材料 他），電解液・電解質，セパレータ（ポリオレフィン 他），銅箔，バインダー，添加剤など
- 医薬品材料  
賦形剤，崩壊剤，結合剤，滑沢剤，コーティング剤など

- 食品用材料  
健康食品, 機能性食品, 介護用食品, 各種添加剤など
- 複合材料  
粒子分散系複合材料, 多層被覆粒子, 有機・無機ハイブリッド材料など
- 材料製造法  
粒子被覆や粒子積層, 粒子合成法など新規材料の製造法  
粉体シミュレーションゾーン
- ソフトウェア  
商用ソフトウェア, 動画編集, DEM, CAD, CFD, ワークステーションなど
- シミュレーション用物性取得  
AFM, ピクノメーター, 付着力測定装置, ゼータ電位測定装置など
- 検証実験用機器  
PIV, ハイスピードカメラ, レーザ顕微鏡, SEM など

#### ◇小間規格と出展料◇

	出展料金 1 小間あたり (消費税 10% 込み)		小間規格 間口 m × 奥行 m × 高さ m
	主催会員	一般	
一般ブース / 小間	396,000 円	462,000 円	2.97 × 2.97 × 2.7 <sup>*</sup>
【特別展示ゾーン】 《新設》粉体・関連材料ゾーン 粉体シミュレーションゾーン	264,000 円	297,000 円	1.98 × 1.98 × 2.7
パネル展示 <sup>***</sup> / 1 スペース	55,000 円		
《出展条件緩和》 <sup>***</sup> トライアルブース (基本装飾付き)	462,000 円		2.97 × 2.97 × 2.7

\* 10 小間以上の独立小間は装飾高さ 5.0 m まで可能です。

\*\* 大学・研究機関または一般小間・トライアルブース出展社のみ対象となります。

\*\*\* 2022 年以降, 東京での POWTEX<sup>®</sup> に出展されていない企業限定 (先着 20 小間限定)

#### ◇開放面の指定◇

1 ~ 3 小間および 4・6・8 小間の出展社 (ブロックダブルのみ) は開放面の指定をすることができます。(別途有料)

#### ◇出展申込締切 (満小間になり次第締切) ◇

2026 年 6 月 30 日 (火)

#### ◇来場対象業種◇

化学・ゴム・プラスチック / 紙・パルプ / 医薬品・健康食品・化粧品 / 食品・飼料 / 無機材料・セラミックス / 鉄鋼・金属・鉱業・セメント / 電気・電池・エレクトロニクス / 機械 / エンジニアリング・建設 / 環境・エネルギー・資源・リサイクル / 金融・保険・商社 / 官公庁・学校・国公立研究機関 他

#### ◇オンラインでの出展内容紹介◇

今回はリアル展に来場いただくための広報に重きを置き, 従来のオンライン展ではなく, 新規仕様 (出展内容紹介 + 一部リード取得) にて出展内容紹介を行います。製品情報, 動画等を掲載することができ, 来場者が製品情報の PDF をダウンロードするとリードが獲得できます。また, 問い合わせや面談希望などの機能も設置します。

#### ◇粉体技術総覧 2026 / 2027 掲載募集のご案内◇

粉体の基礎技術からシミュレーションソフトまで粉体の全てがここに集結! 粉体技術総覧とは, 粉体関連機器や技術に関するガイドブックです。POWTEX<sup>®</sup> (東京・大阪) の開催に合わせて二年に一度発行されます。

★最新情報も網羅

★展示会後も宣伝効果

★低予算で効果的

★WEB版も展開

御社の機器・技術の出展との相乗効果も期待できます。ぜひ、掲載をご検討ください。

#### お問合せ・出展お申込み先／展示会事務局

(株)シー・エヌ・ティ

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-24-3 FORECAST 神田須田町 4 階

TEL: 03-5297-8855 E-mail: info2026@powtex.com

主催者

(一社) 日本粉体工業技術協会 東京事務所 (本展示会窓口)

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-26-11 種苗会館 5 階

TEL: 03-3815-3955

#### ◆ 2026 年度教育部門の開催予定講座

2026 年度に日本粉体工業技術協会 教育部門が開催する講座、セミナーなどの予定が以下のように決定されました。協会ホームページなどで順次募集のお知らせをいたします。

開催予定が変更となる場合がございます。最新情報は協会ホームページをご確認ください。

	講座名	開催日	開催場所
<b>粉体入門セミナー</b>			
1	粉体入門セミナーⅠ (第 77 回) 「粉体とは何だろうか? ~その性質と評価~」	2026.6.3 ~ 4	大阪 / KITENA 新大阪
2	粉体入門セミナーⅡ (第 78 回) 「粉をつくり、そして利用するために」	2026.6.17 ~ 18	大阪 / KITENA 新大阪
3	粉体入門セミナーⅢ (第 79 回)「粉をあやつる」	2026.7.1 ~ 2	大阪 / KITENA 新大阪
<b>粉体基礎講座</b>			
1	粉体基礎講座	2026.7.27 ~ 28	東京 / アーバンネット神田カンファレンス
<b>粉体技術者養成講座</b>			
1	粉体ハンドリング	2026.9 月 または 10 月	名古屋 / (株) ナノシーズ
2	混練	2026.10.9	未定
3	乾燥	2026.10.15 ~ 16	千葉 / 月島ホールディングス (株) R&D センター
4	粉砕	2026.10.29 ~ 30	大阪 / (株) 栗本鐵工所
5	粒子加工	2026.11.5 ~ 6	兵庫 / (株) パウレック
6	集じん	2026.12.4 ~ 5	名古屋 / ウィンクあいち
7	ろ過	2027.1.18 ~ 19	未定
<b>粉体技術専門講座</b>			
1	第 74 回粉体技術専門講座【粉砕分科会】	2026.12.8	大阪 / 東洋炭素 (株) 近藤照久記念東洋炭素総合開発センター
<b>粉じん爆発・火災安全研修</b>			
1	粉じん爆発・火災安全研修 [初級 / 基礎編]	2026.9.2 ~ 3	ハイブリッド研修
2	粉じん爆発・火災安全研修 [中級 / 技術編]	2027.3 月頃	ハイブリッド研修

2026 年度特別協賛会費申し込みの日本粉体工業技術協会会員は、受講料が半額になります。(粉体技術者養成講座を除く) また、粉体入門セミナーはⅠ・Ⅱ・Ⅲを通してお申し込みいただきますと、受講料の割引があります。

### ◆ 分科会の開催案内

会員の方ならどなたでも参加できます。非会員の方でも参加できますので、参加を希望される場合は、各分科会の申込み先あるいは協会本部までお問合せください。分科会の活動状況と詳しい開催案内は協会ホームページでご確認ください。

行事名	月日	時間	場所
2025年度第3回（通算200回）粉体ハンドリング分科会	3月2日（月）	13:00～19:30	東京／日本大学 理工学部 タワー・スコラ
第3回リサイクル技術分科会	3月4日（水）	12:30～18:30	熊本／（株）カネムラエコワークス
第2回造粒分科会	3月6日（金）	10:00～19:00	東京／中央大学 後楽園キャンパス
第3回晶析分科会	3月6日（金）	13:15～18:15	名古屋／（一財）ファインセラミックスセンター（JFCC）
合同分科会（集じん&分級ふるい分け）	3月9日（月）	13:50～19:45	日清製粉（株）東灘工場

分科会開催案内



[https://appie.or.jp/introduction/organization/technical\\_groups/](https://appie.or.jp/introduction/organization/technical_groups/)

### ◆ 粉体関連総合情報誌「粉体技術」

日本粉体工業技術協会が発行する月刊「粉体技術」は、粉体に関わるあらゆる技術、粉体領域に関する最新情報、マーケティング・マネージメントおよび海外情報など幅広い内容を網羅した粉体関連産業に携わる方々への総合情報誌です。一般の書店などでは容易に入手できませんので、ぜひ予約購読をお願い致します。

【最新号】2025年3月号「伝統的工芸品産業に使われる粉体技術」



<https://appie.or.jp/shirumanabu/publishing/funtaigijyutu/>

## 粉体工学会 行事予定

## ☆ 主催行事

開催期日	行 事	会 場	掲載巻・号
2026年			
3月30日(月)	2026年度第1回粉体グリーンプロセス研究会	兵庫県立大学 姫路工学キャンパス(兵庫)	63巻1号
5月11日(月) } 15日(金)	WCPT10	グランキューブ大阪(大阪)	<a href="https://wcpt10.org/">https://wcpt10.org/</a>
5月27日(水)	2026年度第1回粉体材料設計研究会『粉体材料設計と芸術分野との連携』	横浜国立大学(神奈川)	本号

## ☆ 特別協賛行事

開催期日	行 事	会 場	掲載巻・号・URL
2026年			
11月25日(水) } 27日(金)	POWTEX2026(第46回国際粉体工業展)	東京ビッグサイト(東京)	<a href="https://www.powtex.com/tokyo/">https://www.powtex.com/tokyo/</a>

## ☆ 共催, 協賛, 後援行事

開催期日	行 事	会 場	問合せ先	TEL (FAX) E-mail URL
2026年				
3月6日(金)	2025年度第3回晶析分科会	ファインセラミックセンター(愛知)	日本粉体工業技術協会 晶析分科会	<a href="mailto:crystallization@noritake.com">crystallization@noritake.com</a> <a href="https://appie.or.jp/wp-content/uploads/2026/01/250306shoseki.pdf">https://appie.or.jp/wp-content/uploads/2026/01/250306shoseki.pdf</a>
3月9日(月)	2025年度合同分科会(第4回集じん分科会, 第2回分級ふるい分け分科会)(共催)粉体工学会 集塵技術の多機能化研究会	日清製粉(株)東灘工場(兵庫)	合同分科会事務局	<a href="https://forms.cloud.microsoft/r/cjayCDiZD1">https://forms.cloud.microsoft/r/cjayCDiZD1</a>
3月18日(水)	第365回塑性加工シンポジウム「スマート工場実現に向けたDXの深化」<2026年塑性加工春季講演会併設企画>	静岡大学 浜松キャンパス(静岡)	日本塑性加工学会	03-3435-8301 <a href="mailto:jstp@jstp.or.jp">jstp@jstp.or.jp</a> <a href="http://www.jstp.or.jp">http://www.jstp.or.jp</a>
3月23日(月)	表面科学セミナー2026 実践! インフォマティクスと自律計測の基礎と応用	大田区産業プラザ PiO(東京)(ハイブリッド開催)	日本表面真空学会	03-3812-0266 <a href="mailto:office@jvss.jp">office@jvss.jp</a> <a href="https://www.jvss.jp/ja/activities/06/detail/00024.html">https://www.jvss.jp/ja/activities/06/detail/00024.html</a>
4月21日(火) } 22日(水)	第43回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会	早稲田大学国際会議場(東京)	日本空気清浄協会	03-3665-5591 <a href="mailto:jaca@jaca-1963.or.jp">jaca@jaca-1963.or.jp</a> <a href="https://www.jaca-1963.or.jp/">https://www.jaca-1963.or.jp/</a>
6月12日(金)	先端技術を支える単位操作シリーズ「晶析技術の基礎と最新動向」講演&展示会一	大阪科学技術センター(大阪)	化学工学会 関西支部	06-6441-5531 <a href="mailto:mail@kansai-scej.org">mail@kansai-scej.org</a> <a href="https://www.kansai-scej.org/">https://www.kansai-scej.org/</a>

7月10日(金)	第42回物性物理化学研究会	大阪医科薬科大学薬学部(大阪)	物性物理化学研究会	072-690-1210 maku22@pharm.kyoto-u.ac.jp <a href="https://sites.google.com/view/bussei42">https://sites.google.com/view/bussei42</a>
7月10日(金) 12月9日(水)	第31講「研究開発リーダー実務講座2026」—企業の将来を担う理想の研究開発リーダー像とは?—	大阪科学技術センター(大阪)	近畿化学協会	06-6441-5531 seminar@kinka.or.jp <a href="https://kinka.or.jp/event/2026/31leader.html">https://kinka.or.jp/event/2026/31leader.html</a>
7月22日(水)	第20回日本セラミックス協会関西支部学術講演会	京都大学 吉田キャンパス(京都)	日本セラミックス協会関西支部	075-753-9129 yabutsuka.takeshi.5m@kyoto-u.ac.jp <a href="https://www.ceramic.or.jp/skansai/gaku.html">https://www.ceramic.or.jp/skansai/gaku.html</a>
7月29日(水) 31日(金)	第36回環境工学総合シンポジウム2026	工学院大学(東京)	日本機械学会	env-event@jsme.or.jp <a href="https://www.jsme.or.jp/env/symp/sympo-info2026/index.shtml">https://www.jsme.or.jp/env/symp/sympo-info2026/index.shtml</a>
11月1日(日) 6日(金)	コロイドおよび界面化学部会50周年記念国際会議(Okinawa Colloids 2026)	万国津梁館(沖縄)	Okinawa Colloids 2026 組織委員会	admin@okinawacolloids.jp <a href="https://okinawacolloids.jp/">https://okinawacolloids.jp/</a>

## ▶ 会員消息

### 会員数

2026年1月29日現在

維持会員	20社
賛助会員	67社
事業所会員	232社
個人会員	361名
学生会員	125名
図書館会員	15社
名誉会員	91名

会員総数 911

## ▶ 会務報告

### ◎2026年度第1回理事会

日時：2026年2月7日(土) 13:00～16:00

場所：オンライン(Microsoft Teams)開催

出席者：白川 善幸(代表理事会長), 芦澤 直太郎(副会長), 福井 国博(副会長), 山本 浩充(副会長), 飯村 健次, 市川 秀喜, 大野 智也, 荻田 容宏, 加納 純也, 木俣 光正, 黒瀬 良一, 酒井 幹夫, 笹邊 修司, 瀬戸 章文, 高井 千加, 武居 昌宏, 多々見 純一, 丹野 秀昭, 所 千晴, 中野 裕美, 中村 圭太郎, 野田 直希, 野村 俊之, 藤 正督, 堀田 裕司, 六車 嘉貢, 森 隆昌, 綿野 哲

各理事 計28名

井須 紀文, 内藤 牧男(兼参事)

監事 計2名

後藤 邦彰, 田中 敏嗣, 谷本 友秀

各参事 計3名

陪席：金谷 信, 中島 伸吾

### 議事：

#### 【報告事項】

- 報告事項1 2025年度第4回理事会議事録の確認
- 報告事項2 代表理事職務執行状況の定期報告
- 報告事項3 2026年度行事報告・行事予定・本部行事
- 報告事項4 WCPT10 準備状況
- 報告事項5 各種委員会報告  
和文誌編集委員会, 英文誌編集委員会, 企画委員会, 表彰委員会, 組織強化・会員増強特別委員会, その他委員会
- 報告事項6 地方談話会・部会・研究会・ワークショップ関係

#### 【審議事項】

- 第1号議案 各種行事関係
- 第2号議案 各種委員会関係
- 第3号議案 名誉会員推薦の件
- 第4号議案 2026年度定時社員総会招集の件
- 第5号議案 2026年度定時社員総会資料の件
- 第6号議案 会員入会承認の件
- 第7号議案 その他 バナー案, 会員リスト

#### 【配布資料】

- 資料 出席者名簿
- 資料1 2025年度第4回理事会議事録
- 資料2 2026年度行事報告・行事予定・本部行事

資料3 WCPT10 進捗状況  
資料4 各種委員会報告  
資料5 地方談話会・部会・研究会・ワークショップ  
関係  
資料6 名誉会員推薦者案  
資料7 2026年度定時社員総会招集通知書並びに社員  
総会出欠通知書  
資料8 2026年度定時社員総会資料案

資料9 会員数入退会状況  
資料10 バナー案

【次回予定】

2026年度  
定時総会 3月28日(土) 13:30 京都経済センター  
第2回理事会 3月28日(土) 定時総会終了後 京都  
経済センター



## 2026年度第1回粉体材料設計研究会 『粉体材料設計と芸術分野との連携』

粉体材料設計研究会は、『非営利活動法人富士山からはじまる天然顔料と粉砕の研究会』および『横浜国立大学先進セラミックス創造研究拠点』、並びに(一社)日本粉体工業技術協会粉砕分科会との連携によって、下記のように本年度第1回研究会を開催致します。今回、粉体材料設計の分野からは、メソポーラスカーボン材料の魅力とその応用展開について、また「ものづくり」の基礎となるスラリーの微妙な調製条件が材料特性に及ぼす影響についての2件の話題を提供します。一方、芸術分野からは、岩絵の具の作り方をご紹介しますとともに、粉体工学との今後の連携について考えてみたいと思います。

皆さん奮ってご参加下さいますようお願い致します。

日時：2026年5月27日(水) 13:40～16:30

場所：横浜国立大学環境情報1号棟

横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7

キャンパスマップ ([https://www.ynu.ac.jp/access/map\\_campus.html](https://www.ynu.ac.jp/access/map_campus.html))

共催：非営利活動法人富士山からはじまる天然顔料と粉砕の研究会

横浜国立大学 先進セラミックス創造研究拠点

(一社)日本粉体工業技術協会粉砕分科会

参加費：無料

### プログラム：

13:40～13:50 開会挨拶 (横浜国立大学大学院教授 多々見 純一)

13:50～14:30 カーボンパウダーへのデザインされた細孔の導入方法とその特性紹介

(東洋炭素株式会社 エグゼクティブ・フェロー 森下 隆広)

14:30～15:10 スラリー調製条件が材料特性に及ぼす影響

(大阪大学名誉教授 内藤 牧男)

15:10～15:30 休憩

15:30～16:10 岩絵の具の作り方の紹介と「芸術と粉体工学」のこれからの連携

(女子美術大学名誉教授 橋本 弘安)

16:10～16:30 総合討論

(横浜国立大学大学院教授 多々見 純一)

問い合わせ先：横浜国立大学 多々見・飯島研究室 小池弘子

TEL: 045-339-3959 E-mail: h-koike@ynu.ac.jp

(ご参加にあたり、事前にご連絡いただければ幸いです。)

先日、人生で初めて鳥取砂丘を訪れました。失礼ながらあまり期待せずに足を運びましたが、目の前に広がる光景は想像以上でした。広大な砂の大地は起伏に富み、砂丘の頂上からの眺望は非常に見応えがありました。足元の砂を手にとってみると、粒径は1 mmにも満たず、その分布は驚くほど均一でした。職業柄、粒子径分布を測ってみたい衝動に駆られました。砂の採取や持ち帰りは禁止されていますのでご注意ください。また、近くの「砂の美術館」では、第16期展示「砂で世界旅行・日本」が開催され、神話の時代から現代までの日本の歴史をたどる壮大な砂の彫刻「砂像」が並んでいました。水だけで固められた砂を削り出して形づくられた巨大な立体像は、細部まで精緻に彫り込まれています。世界各国から参加したサンドアーティストたちが手掛けた作品群は一体感に満ち、圧巻の砂像に大変魅了されました。残念ながら、これらの砂像は1月にすべて崩され、元の砂に戻されるとのこと。現在はその砂を再利用し、新たな作品が制作されている途上です。次回、第17期展示はスペインをテーマに、4月24日から開催されます。ご興味のある方は、ぜひ足を運んでみてください。

さて、今月号は2025年度春期研究発表会の特集号です。儂く崩れゆく砂像とは異なり、皆さまの研究成果は決して崩れることなく残り続け、読者を魅了し続けることでしょう。ぜひ本誌にて、その成果を「展示」してみたいかがでしょうか。(米農家)

本会誌は会員の皆様の原稿でつくられます。会員の皆様方からの論文のほかに、解説、総説、技術資料、講座・講義等の依頼記事ならびに学位論文紹介、海外報告、四分法等の一般記事のご投稿もお願いいたします。投稿用テンプレートならびに投稿規程および投稿の手引きは当会のホームページ (<https://www.sptj.jp>) よりダウンロードできます。投稿規程と投稿の手引きは、1号に掲載しています。

## 編集委員

委員長	飯村 健次	
副委員長	田原 耕平	
編集委員	梅本 賢	大崎 修司
	小川 法子	門田 和紀
	小澤 隆弘	近藤 光
	高井 千加	綱澤 有輝
	中村圭太郎	仲村 英也
	深澤 智典	藤 正督
	松永 拓郎	三野 泰志
	山本 徹也	吉田 幹生
事務担当	奥村 しのぶ	

## ◆ 次号予告 ◆

巻頭言 粉体工学は面白くて儲かるのか? ..... 仲村 英也

論文 CNT を含むリチウムイオン電池電極の観察・定量化 ..... 秋元 裕介 他

新・基礎粉体工学講座 第2章 粉体の生成と生産プロセス

2.4.7 医薬品や機能性食品に含まれる有効成分の粉碎 ..... 池田真由美 他

令和8年2月28日印刷  
令和8年3月10日発行

## 粉体工学会誌

© The Society of Powder Technology, Japan

第63巻第3号(通巻682号)(2026)

一般社団法人粉体工学会：〒600-8176 京都市下京区烏丸通六条上ル北町181 第5キョートビル3階  
TEL: 075-351-2318 FAX: 075-354-5318  
No. 5 Kyoto Bldg., 181 Kitamachi, Karasuma-dori, Rokujo-agaru, Shimogyo-ku, Kyoto 600-8176, Japan  
E-mail: office@sptj.jp (庶務) kaishi@sptj.jp (和文誌編集) URL: <https://www.sptj.jp/>

編集兼発行人：一般社団法人粉体工学会(代表理事会長 白川 善幸)

印刷所：中西印刷株式会社

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル  
TEL: 075-441-3155 FAX: 075-417-2050 E-mail: funtai@nacos.com